

# 「林業相談室からの報告」

## ～ サクラについて～

### 橋 場 一 行

春になり気温が上昇するとともに、日本列島をサクラ前線が等温線にそって北上します。

これを開花日線、サクラ暦とって、古くから生物季節を表すものとして、農業、気象、生活などの分野に広く活用されています。

場内にも 20 年生以上のエゾヤマザクラやソメイヨシノ、チシマザクラ、ミヤマザクラ、カスミザクラ、ミザクラ、ウワミズザクラ、シユリザクラ等 13 種、約 60 本のサクラが植えられています。開花時期は、その年の気候や品種によって遅速があります。

当场への林業相談の中にも、サクラについての相談や質問が数多く寄せられています。

#### サクラの品種系統

サクラはバラ科、サクラ属・、サクラ亜属に属し、多数の変種、園芸品種の総称です。

野生種は 6 群 12 種に分類され、その他、園芸品種（一般的にはサトザクラと呼ばれている）は約 300 種で、野生種のおオシマザクラ系を改良したものが最も多いといわれています。

全国的にサクラといえは、古い時代にはヤマザクラであり、明治以降はソメイヨシノがサクラの代表といえるようです。（写真 - 1）



写真 - 1 ソメイヨシノの満開

#### 北海道に適するサクラ

道内にあるサクラの野生種はエゾヤマザクラ（本州ではオオヤマザクラという）が最も多く、チシマザクラ（タカネザクラともいう）、ミヤマザクラ、カスミザクラの 4 種です。

園芸品種はソメイヨシノが道南、道央に多く、その他の地域においても、いくらか八重桜がみられますら

道内のサクラの名所として松前町がよく知られており、開花の早い南殿や松前早咲きの咲きほこるさまは見事なものです。

道内に植栽可能なサクラは、野生種のエゾヤマザクラ、チシマザクラが主体になるのですが、環境条件と品種によってはサトザクラの導入も考えられます。

### 八重ザクラは結実数が少ない

八重咲きは雄しべが花弁に変化したものが一般的で、花びらの多くは2枚、3枚、5枚で輪状に配列し重複しています。

正常の2倍程度増数したものを半八重といい、重複がとくに著しいものを千里ちえんといいます。八重ザクラは、雄しべや雌しべが花弁に変化したもので、まったく結実機能を失ったものが多く、結実数が少ないのです。

例えば、南殿は花弁が12枚ぐらいで、ほとんど結実しません。

### サクラの類の増殖法を知りたい

エゾヤマザクラ等の野生種は結実量も多く、実生繁殖に適しています。

八重ザクラは雄ずいや雌ずいのないものが多く、種子ができないため、古くから、つぎ木によって増殖してきました。

当場の試験研究成果でも、実生とつぎ木が増殖に適し、さし木の成績はよくありません。

実生繁殖法には、種子を採種して直ちに播種する方法（とりまき）と種子を保湿貯蔵し、翌春播種する方法がありますが、とりまき法がよい結果を得ております。（図-1）

つぎ木の台木には親和性のある品種がよく、サトザクラにはアオハダザクラ、野生種には同じ品種の台木が適しています。

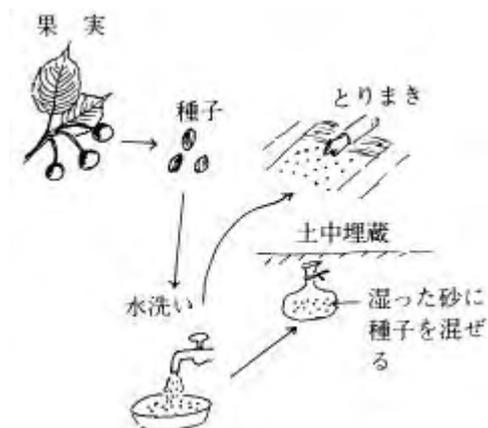


図-1 種子の採種とまきつけ

### サクラの剪定

昔から「サクラ切る馬鹿、ウメ切らぬ馬鹿」という諺があり、これは、サクラの太い枝を切断すると、切り口からいつまでも樹液がしみ出して、乾燥しないため癒合がおくれ、木質部が病原菌に侵されてしまうからです。

したがって、剪定をする場合、強い剪定は、樹液の上昇の少ない晩秋か早春に行い、切り口にオキシソル黄塩塗布剤（ユゴー剤A）、チオファネートメチル剤（トップジンMペースト）等の癒合剤を塗布し、病原菌の侵入を防ぐことが大切です。

### 傷のついた樹木の手当て方法

サクラの幹は、主に寒さによる凍傷、凍裂や冠雪による折損、さらに、穿孔害虫（コスカシバ等）などによって、傷がつきやすいものです。（写真 - 2）

この手当て方法は、腐朽部分や傷口をきれいに削り取り、癒合剤を塗布することです。

予防法としては、寒害の防止や害虫の防除、適切な剪定が望まれます。



写真 - 2 コスカシバによる被害

### 天狗巢病の防除方法

天狗巢病はサクラにとって、最もやっかいな病気で、特にソメイヨシノは、この病気にかかりやすいのが特徴です。（写真 - 3）

防除法は、早春、病原菌の活動する前に図 - 2 のようにり病枝を切りとり、切断面に癒合剤を塗布し、腐朽菌の侵入を防ぎます。り病枝を切除後、全体に石灰硫黄合剤かベンレートを散布して病気のまん延を防止します。（図 - 2）

特に、海岸や風衝地では、幹や枝葉に傷害を受けないように、防風林等の設置や適地の選定等十分検討してほしいものです。

また、木病菌は伝染性ですので、周辺にり病木があると伝染しやすく、できる限り取り除くよう心掛けてください。

参考までに、当場のソメイヨシノ 20 年生の生育状況を別表に示しました。これをもて天狗巢病や凍害等の被害が原因で、開花しない木が多くなっていることがわかります。（別表）



写真 - 3 ソメイヨシノの天狗巢病

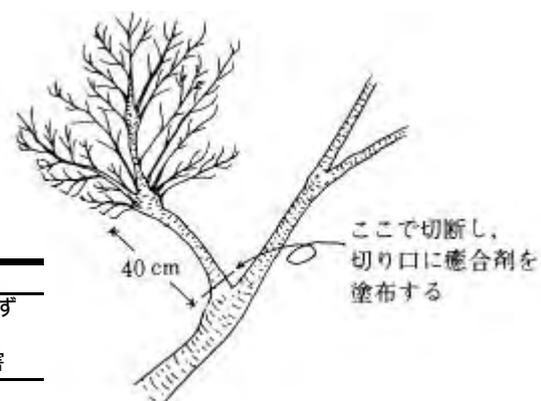


図 - 2 天狗巢病枝の切り方

別表 ソメイヨシノ生育状況

（林試構内）

全数 (本)	開花状況 (本)		樹高 (m)	被害 (本)				
	50% 以上	50% 以下		天狗 巢病	胴枯病 (凍害)	穿孔虫害 (コスカ シバ)	穿孔虫害 (カミキ リムシ)	野ねず み害
13	7	6	$\frac{4}{2-8}$	12	8	2	1	7

（主任林業専門技術員）